

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	電子機械工学特別実験
科目基礎情報						
科目番号	93034		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数		学修単位: 6	
開設学科	電子機械工学専攻M		対象学年		専1	
開設期	通年		週時間数		3	
教科書/教材	／講義の都度、適宜プリントを配付する					
担当教員	上木 諭,杉浦 藤虎					
到達目標						
(ア)ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる。 (イ)専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する。 (ウ)構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる。 (エ)ものづくりの工程の試運転時に発生した問題に解決案を提案できる。 (オ)自主的、継続的なグループ作業を行った結果、企画から完成までの過程を総括し報告することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現できる		課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い機能を実現できる		課題に対して、相互協力により信頼性の高い機能を実現できない	
評価項目(イ)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		生産システムを制御するための基本的なプログラムの開発ができない	
評価項目(ウ)	試運転時に発生した問題に解決案を提案し、本運転を通して最終的な総括、報告をすることができる		試運転・本運転を通して最終的な総括、報告をすることができる		試運転・本運転を通して最終的な総括、報告をすることができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	ものづくり工程における生産システムの企画段階から構想・設計・製作・組立・調整・試運転に至るまでの各工程に必要な機械・電気・情報の幅広い専門知識と、専門外の領域への配慮とコミュニケーションを通じて、プロジェクトマネージャーとして必要な管理能力を学ぶ。本実験でものづくり工程の経験を通して自主的、継続的に学習していくための能力を身につける。					
授業の進め方・方法						
注意点	ものづくり一気通観エンジニア養成のために準備したロボットを用いて、機械、電気、情報の3分野の学生と、企業技術者が共同して、一つのテーマに取り組む。必修					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	安全指導、ものづくり工程の企画・構想		ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる	
		2週	安全指導、ものづくり工程の企画・構想		ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる	
		3週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計（電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		4週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計（電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		5週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計（電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		6週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計（電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		7週	デザインレビュー（設計内容を発表し指導を受ける）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		8週	デザインレビュー（設計内容を発表し指導を受ける）		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
	2ndQ	9週	デザインレビュー後の修正		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		10週	デザインレビュー後の修正		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		11週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		12週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		13週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		14週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		15週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		16週				
後期	3rdQ	1週	構成部品の製作、プログラムの作成		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		2週	プログラムロード・デバック		構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	

		3週	プログラムロード・デバック	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		4週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		5週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		6週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		7週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		8週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
	4thQ	9週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作，生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
		10週	試運転と本運転	ものづくりの工程の試運転時に発生した問題に解決案を提案できる
		11週	試運転と本運転	ものづくりの工程の試運転時に発生した問題に解決案を提案できる
		12週	総合評価・成果発表会	自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し報告することができる
		13週	総合評価・成果発表会	自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し報告することができる
		14週	報告書の作成・技術指導	自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し報告することができる
		15週	報告書の作成・技術指導	自主的，継続的なグループ作業を行った結果，企画から完成までの過程を総括し報告することができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		課題	合計		
総合評価割合		100	100		
専門的能力		100	100		